

日本のエネルギー政策とロシアの軍事戦略を考える

－令和5年度第2回研修会を開催－

令和5年10月26日（木）、KAKKINは友愛会館においてエネルギーと経済・環境を考える会と共催で、研修会を開催しました。

前半の講演Ⅰは、社会保障経済研究所代表・石川和男氏による「今後のエネルギー情勢の展望と日本がとるべき道筋」。いま日本を含め世界は「安定供給」「経済性」と「地球環境保全」のそれぞれで問題に直面していますが、今後のエネルギー情勢の見通しを踏まえ、これから日本はどのような政策をとるべきなのか、そしてその中で原子力をどう位置付けたいのかを考えました。



石川講師



佐々木講師

また後半の講演Ⅱは、元在ロシア日本国大使館防衛駐在官、広島大学・東海大学客員教授・佐々木孝博氏による「ロシア・ウクライナ戦争と日本の防衛～見えない領域の戦いと核兵器使用の可能性」。ロシアの独得な安全保障観、安全保障戦略をはじめ、ロシア・ウクライナ戦争の教訓としての情報戦、AIの軍事活用、さらには核兵器使用の可能性について理解を深めました。



* 詳細は後日発行する KAKKIN ニュース第 93 号に掲載します。